TOKYU SNOW RESORT

SKI RESORT NASU
Mt.JEANS

(2022)

安 全 報 告 書

マウントジーンズ那須

ジーンズゴンドラリフト
ジーンズクワッドリフト
ジーンズ第1ペアリフト
ジーンズ第2ペアリフト
ジーンズ第3ペアリフト
ジーンズ第5ペアリフト

株式会社ハンターマウンテン塩原

１．利用者の皆様へ

日頃より、マウントジーンズ那須をご利用頂き、また弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。
弊社は、スキー事業理念において「お客様の安全確保」を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2021年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響には濃淡の波がありつつも、その対応に一定の落ち着きが出て経済の回復も一部に現れてきております。
今後につきましてもご来場をいただいたお客様のご理解とご協力を賜りながら、衛生管理を徹底し、気持ちよく過ごせる運営を実施してまいります。

また、施設整備をはじめとし、より一層の安全管理を徹底し、皆様が安心して楽しめる環境づくりを全社一丸となり実行していく所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社ハンターマウンテン塩原
代表取締役　　中村　賢

２．安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

１）全社一丸となり輸送の安全の確保に努め、「安全を最優先」に行動します。

２）輸送の安全に関する法令及び規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

３）憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義がある時は最も安全な取扱いをします。

４）事故・災害等が発生したときは、その状況を冷静に判断し、人命救助を最優先に行動し安全適切な処置をとります。

５）輸送の安全に関する知識・技能向上に努め、常に問題意識を持ち継続的な改善を図ります。

３．索道運転事故発生状況

１）索道運転事故
2021年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

２）災害（地震・暴風・豪雪など）
2021年度は、災害による運行停止はありません。尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

３）インシデント（事故の前兆）
2021年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

４．安全確保のための取組

１）安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2021年度の主要整備実施項目　　OH⇔オーバーホール

ジーンズゴンドラリフト	握索機解体整備（20台）
ジーンズクワッドリフト	握索機解体整備（28台）・クランプブロック更新（28台） メインパーツ、クランプピース更新（20台）・主電動機OH
ジーンズ第1ペアリフト	握索機解体整備（94台）・油圧緊張シリンダー更新
ジーンズ第2ペアリフト	休止中
ジーンズ第3ペアリフト	休止中
ジーンズ第5ペアリフト	休止中

通常整備 ：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2022年度の主要整備計画項目　　OH⇔オーバーホール

ジーンズゴンドラリフト	握索機解体整備（20台） 支柱塗装(11・12・13・14・15・16・17・18・19号支柱)
ジーンズクワッドリフト	握索機解体整備（29台） メインパーツ、クランプピース更新（１0台）
ジーンズ第1ペアリフト	通常整備
ジーンズ第2ペアリフト	休止中
ジーンズ第3ペアリフト	休止中
ジーンズ第5ペアリフト	休止中

通常整備 ：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

２）人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中について、社員または経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱についての安全教育を実施しています。また、社内の勉強会、研修により技術力向上に取組んでおります。

＊勤務前研修　夏季・冬季
（実施日4月20日、5月10日、9月10日、12月14日～12月27日　計7回　参加者60名）
＊東急グループ技術管理員研修会　Web開催
（実施日10月２９日　動画マニュアル発表　参加者１名）
＊索道技術力向上勉強会
（実施日7月13日　動画マニュアル実習　参加者11名　8月30日　溶接実習　参加者4名）

【社長訓示】

【勤務前研修】

【研修受講写真】

【研修受講写真】

3）訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

＊冬季救助訓練　　（実施日 12月16日、12月19日　計２回　参加者31名）

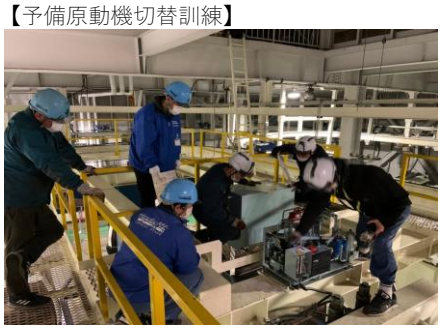
＊ゴンドラ救助訓練　　（実施日 1月23日　参加者22名）

＊予備原動機切替訓練　（実施日 5月1日、12月2日、12月7日　計3回　参加者21名）

【冬季シーズン前救助訓練】

【ゴンドラ救助訓練】

【予備原動機切替訓練】



【予備原動機切替訓練】

４）安全向上への積極的な取組

＊監視カメラの設置

利用者の安全確保のため基幹リフトの乗り場または降り場に監視カメラを設置しています。

＊気象情報の収集

外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

＊接客マナーの向上

索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。

＊滑走時のヘルメット着用の啓発

お客様へのヘルメット着用の推奨とスタッフの着用を徹底しています。

５）新型コロナウイルス感染症への対策

当社では、専門家の監修のもと政府ガイドラインや自治体の方針に沿い１００項目以上の感染予防対策を実施し、お客様に安心してご利用いただく環境を提供しており、主な実施項目は次の通りです。

＊乗車に際しマスク着用やソーシャルディスタンスの確保等による３蜜回避

＊施設の備品やお客様が触れる箇所等の消毒を定期的に実施

＊出改札での飛沫防止やキャッシュレス等の非接触化を推進

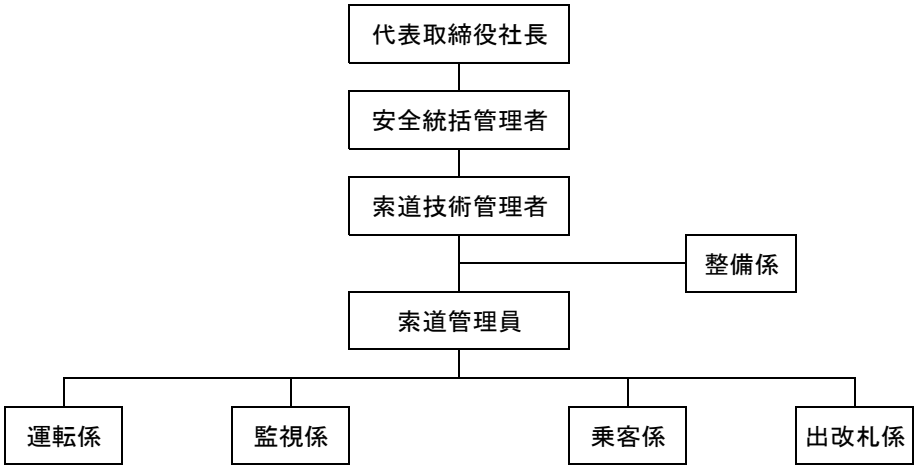
＊従業員における衛生管理の徹底

５．安全管理体制図

2021年2月1日の鉄道事業法施行規則の一部改正に伴い、2021年2月に「安全管理規程」を改正し、社長をトップとする安全管理体制を構築しております。
この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



６．終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2021年度の安全報告書とさせていただきます。